



RULES FOR THE FIS ALPINE CONTINENTAL CUPS

EUROPEAN CUP

NOR-AM CUP

FAR EAST CUP

SOUTH AMERICAN CUP

AUSTRALIA NEW ZEALAND CUP

EDITION 2021/22

(日本語：2021年12月1日版)

※英語版との相違がある場合は、英語版を優先する。

INTERNATIONAL SKI FEDERATION

Blochstrasse 2; CH- 3653 Oberhofen / Thunersee; Switzerland

Phone: +41 (33) 244 61 61

Fax: +41 (33) 244 61 71

E-mail: alpine@fiski.com

Alpine FIS World and Continental Cup Office Alpine Rules administration

Tatjana Lüssy: +41 (33) 244 61 63

E-Mail: luessy@fiski.com

CONTINENTAL CUPS

GROUPS OF NATIONS

EUROPEAN CUP (EC)

AND, AUT, BEL, BIH, BLR, BUL, CRO, CZE, DEN, ESP, EST, FIN, FRA, GBR, GEO, GER, GRE, HUN, IRL, ISL, ISR, ITA, KOS, LAT, LIE, LTU, LUX, MON, MDA, MKD, MNE, NED, NOR, POL, POR, ROU, RUS, SLO, SMR, SRB, SUI, SVK, SWE, TUR, UKR

NOR AM CUP (NAC)

CAN, USA

FAR EAST CUP (FEC)

CHN, IND, IRI, JPN, KAZ, KOR, MGL, PAK, RUS, PRK, TPE, UZB

SOUTH AMERICAN CUP (SAC)

ARG, BOL, BRA, CHI, COL, ECU, PER, URU, VEN

AUSTRALIA NEW ZEALAND CUP (ANC)

AUS, NZL

目次

1	総則	6
2	出場資格	6
2.1	基本出場枠 (BASIC QUOTA)	6
2.2	国別出場枠 (NATIONAL QUOTA)	6
2.2.1	1大会でのダウンヒル、スーパーG、アルペンコンバインドの出場枠	7
2.2.1.1	1大会でのジャイアントスラローム、スラロームの出場枠 (*EC)	7
2.2.2	個人参加の条件	7
2.3	コンチネンタルカップの開催および開催国 (*全てのカップ)	7
2.4	コンチネンタルカップシリーズの優勝者	7
2.5	ダウンヒルトレーニングのための追加競技者	7
2.5.1	ダウンヒルトレーニングの参加枠 (ダウンヒルのみある場合)	8
2.5.2	ダウンヒルおよびアルペンコンバインドトレーニングのための追加競技者	8
2.6	エントリー申請	8
2.6.1	登録およびエントリー締め切り	8
3	スタート順	8
3.1	第1グループ (1~15) (*NAC)	8
3.1.1	スタート番号の選択/ドロウの選択	8
3.1.2	公開ドロウの手順および、ソーシャルプログラム	9
3.1.3	カップポイントの有効性 (*EC/NAC)	9
3.1.4	有効なベーシックリスト	9
3.2	第1グループ以降のスタート順 (*EC/NAC)	9
3.2.1	スペシャルグループ: 450 (EC、NAC)、400 (FEC)、200 (SAC、ANC) カップポイント	9
3.2.2	各コンチネンタルカップの優勝者および権利獲得者の31番スタート	10
3.3	スラローム、ジャイアントスラローム、およびアルペンコンバインドにおける2本目	10
3.3.1	スラローム、ジャイアントスラロームにおける2本目の制限	10
3.3.2	2本目のスタート順	10
3.3.3	アルペンコンバインドの2本目のスタート順	10
3.4	リーダービブ	10
4	ポイント	11
4.1	得点表	11
4.2	複数の競技者が同順位になった場合	11
4.3	優勝者タイムとのタイム差	11
4.4	コンチネンタルカップファイナル (*EC)	11

5	順位およびコンチネンタルカップ優勝者	11
5.1	順位決定方式	11
5.1.1	リザルト数	11
5.1.2	種目別順位	12
5.1.3	総合順位	12
5.1.4	同順位の競技者	12
5.2	男女共通	12
5.2.1	各コンチネンタルカップでの優勝者	12
5.2.2	種目別優勝者	12
5.2.3	トロフィー	12
5.2.4	メダル	12
5.3	国別対抗戦	12
5.4	ワールドカップの個人出場権	12
5.4.1	各コンチネンタルカップの種目別順位からの出場資格獲得競技者数	13
5.4.2	地理的必要条件 (*FEC)	13
5.4.3	ワールドカップスタートリスト (WCSL) の上位 20 位	13
5.4.4	3 名とも同国の場合 (EC*)	13
5.4.4.1	2 名または 3 名とも同国の場合 (NAC*)	13
5.4.4.2	2 名とも同国の場合 (FEC/SAC/ANC*)	14
5.4.5	出場資格	14
5.4.6	FEC および ANC におけるダウンヒル	14
5.4.7	レース数	14
6	コース公認	14
6.1	コンチネンタルカップでのトレーニング (*EC/NAC)	14
6.2	レースヒルでのフリースキー	14
7	経費の支払い (*NAC/SAC/ANC)	14
7.1	選手及び有資格選手の役員 (*SAC/ANC)	15
7.1.1	役員(サービスマンは除く)	15
7.1.2	コンチネンタルカップ優勝者	15
7.2	追加の競技者および役員 (*NAC)	15
7.3	ダウンヒルおよびスーパーG (*SAC/ANC)	15
7.4	費用支払い期間 (*EC)	15
7.4.1	詳細	15
7.4.2	個人的費用	16
7.4.3	発着	16
7.5	宿泊の権利 (*EC)	16

8	カレンダーおよび計画	16
8.1	休息の期間	16
8.2	他レースの追加	17
8.3	代替競技	17
8.3.1	不可抗力による中止	17
8.3.2	費用の支払い	17
8.3.3	別のレースとの干渉	17
8.3.4	他国での開催	17
8.4	各コンチネンタルカップファイナルの開催地	17
9	アルペンコンバインド	17
9.1	出場枠	18
9.2	FIS ポイント	18
9.3	カップポイント	18
9.4	スタート順	18
9.4.1	シーズン最初のコンバインドでは、ダウンヒルまたはスーパーG とスラロームのスタート順はそれぞれ 3.1.1 に従って決定する。	18
9.4.2	1 本目を完走した競技者全員が 2 本目をスタートする権利をもつ。	18
10	パラレル	18
10.1	レースは、予選を含むパラレルレースとして開催される。	18
10.2	出場枠	18
10.3	パラレル形式における予選滑走	18
10.4	予選滑走	19
10.5	パラレル競技	19
10.6	精密な規定	20
10.7	得点	20
11	物議を醸す事柄	21
SECTION B: EC - EUROPEAN CUP		22
SECTION B: NAC - NOR-AM CUP		26
SECTION B: FEC - FAR EAST CUP		30
FEC.2.3	参加資格数	30
FEC.2.3.1	主催国	30
FEC.2.3.3	訪問国の通常の FIS 割当数	30
SECTION B: SAC - SOUTH AMERICAN CUP		32

SECTION B: ANC - AUSTRALIA NEW ZEALAND CUP	34
主催者の義務	36
A 公示	36
A.1 大会名称	36
A.2 その他の宣伝	36
B 情報	36
B.1 リザルト配布	36
B.2 電子メール／コンピュータ送信	36
C プレスサービス	36
C.1 公開ドロー	36
D コンチネンタルカップ賞	37
D.1 受賞	37
D.1.1 ヨーロッパカップでの賞金	37
D.2 授与式	37
D.3 詳細	37
D.4 3位までの選手	37
D.5 優勝者	37
D.6 総合順位	37
D.7 賞の進呈	38
E 輸送手段	38
E.1 リフトなどの利用	38
F. 経費の支払い／チームサポート	38
F.1 コーディネーターの経費	38
G 宿泊施設	38
G.1 宿泊	38
G.2 食事及び飲料	38
G.3 食事時間	39
H スキールーム	39
I ウォームアップコース／前走者	39
I.1 ウォームアップコース	39

I.2	前走者	39
J	技術的詳細	39
J.1	レースコース上のスノーコンディションに関する大会前の処置	39
J.2	レスキューサービス	40
J.3	中間タイム	40
J.4	ビデオコントロール	40
J.5	ウォーターインジェクションビーム	40
K	ア krediteーション/アームバンド	40
L	総則	40

コンチネンタルカップルール

セクション A：コンチネンタルカップ総則

セクション A のルールは、5 つのコンチネンタルカップにおいて、共有するルールとして定義する。

セクション A の中で、*が付いた条文はセクション B において、関係するコンチネンタルカップに限定して適用される。

1 総則

コンチネンタルカップシリーズの大会は全て国際スキー連盟 (ICR および、COC：セクション A)、コンチネンタルカップ委員会、各国スキー連盟 (カップルール：セクション B) の規則のもと開催される。ルール変更は、シーズン開始 (7 月 1 日) 前までに春季会議でのみ行うことができる。

2 出場資格

アルペンスキー委員会との合意の後、それぞれのシーズン前までに出場資格基準や出場枠を決定する。シーズン中に修正してはならない。

2.1 基本出場枠 (Basic Quota)

有効な FIS ポイントリストで、競技者の FIS ポイントが下記に該当する種目で、FIS ポイント 140 点以内の場合、各国 2 名、ダウンヒルにおいては 3 名の基本出場枠資格が与えられる。(SAC, ANC では、スラローム又はジャイアントスラロームで 160 点の FIS ポイント、スーパー-G とダウンヒル又はアルペンコンバインドでは、180 点の FIS ポイント以内とする。)

競技種目毎の出場枠は次の種目の有効ポイントリストからとする。;

- スラローム、ジャイアントスラロームおよびパラレル：いずれかの 5 試合
- ダウンヒルとアルペンコンバインド (ダウンヒルを含む)：ダウンヒルまたはスーパー-G
- スーパー-G とアルペンコンバインド (スーパー-G を伴う)：ダウンヒル、スーパー-G またはジャイアントスラローム

2.2 国別出場枠 (National Quota)

各 NSA には追加参加枠が FIS ポイントリスト種目別上位 100 位にいる競技者数により決定される。(SAC および ANC は 7 月発行の FIS ポイントリストによる。)

パラレルの追加出場枠は PWSL350 位にいる競技者数により決定される。(SAC および ANC は 7 月発行の PWSL による。)

上記条件に基づく各加盟国連盟の出場競技者数

有資格者数 0 人	$(0+2) = 2$ エントリー
有資格者数 1 人	$(1+2) = 3$ エントリー
有資格者数 2 人	$(2+2) = 4$ エントリー

有資格者数 3 人	(3+2) =5 エントリー
有資格者数 4 人	(4+2) =6 エントリー
有資格者数 5 人	(5+2) =7 エントリー
有資格者数 6 人	(6+2) =8 エントリー
有資格者数 7 人	(7+2) =9 エントリー
有資格者数 8 人	(8+2) =10 エントリー

2.2.1 1大会でのダウンヒル、スーパーG、アルペンコンバインドの出場枠

ダウンヒル、スーパーG および、アルペンコンバインドを 1 つの大会で開催する場合、ダウンヒル、スーパーG またはアルペンコンバインドの内、各国の最も多い方の出場枠を 3 種目、全てで有効とする。

これは、コンチネンタルカップ種目の勝者の追加スタート出場枠にも有効である。

2.2.1.1 1大会でのジャイアントスラローム、スラロームの出場枠 (*EC)

ジャイアントスラロームおよび、スラロームを 1 つの大会で開催する場合、ジャイアントスラローム又は、スラロームの内、各国の多い方の出場枠を 2 種目、全てで有効とする。

これは、コンチネンタルカップ種目の勝者の追加スタート出場枠にも有効である。

2.2.2 個人参加の条件

コンチネンタルカップレースに出場するためには、基本出場枠を除く全ての競技者は、1 種目のみ行われる場合、当該種目で有効な FIS ポイントリストの上位 350 位に入っていないなければならない。あるいは、次のように大会の種目のうち 1 つで 350 位以内でなければならない。

ダウンヒル / スーパーG / アルペンコンバインド, スーパーG / ジャイアントスラローム / アルペンコンバインド, スラローム / ジャイアントスラローム

パラレルは有効な PWSL で 500 位以内に入なければならない。

2.3 コンチネンタルカップの開催および開催国 (*全てのカップ)

コンチネンタルカップを開催すると、開催するコンチネンタルカップで出場枠を拡大することができる。その場合、2.2.1 の個人出場資格を考慮する必要は無い。ただし通常の FIS レース出場枠を超過するものではない。

2.4 コンチネンタルカップシリーズの優勝者

優勝競技者の所属国には、翌シーズンの同じコンチネンタルカップの当該種目において、スタート出場枠を 1 名追加できる。

2.5 ダウンヒルトレーニングのための追加競技者

2.5.1 ダウンヒルトレーニングの参加枠（ダウンヒルのみある場合）
7名までの有資格競技者チーム（国別出場枠4名/基本出場枠3名）については、2名の競技者を追加で公式ダウンヒルトレーニングへの参加を認める。8～15名のチームについては（国別出場枠5～12名/基本出場枠3名）、3名の競技者を追加で公式ダウンヒルトレーニングへの参加を認める。トレーニングのための追加競技者は、2.1に従い、最低限の出場資格を満たしていなければならない。

2.5.2 ダウンヒルおよびアルペンコンバインドトレーニングのための追加競技者
ダウンヒルおよび、アルペンコンバインドが同1会場で行われる場合、トレーニングに参加する競技者数は最大出場枠（基本出場枠+国別出場枠+トレーニングのための追加競技者）に50%を足し、COC優勝者を足した数を超えない。

2.6 エントリー申請

2.6.1 登録およびエントリー締め切り
全てのエントリー申請は、組織委員会またはNSA（FISカレンダーに掲載されているもの）に、技術系の場合は最初の競技日、高速系の場合は公式トレーニング日の少なくとも7日前までに送付しなければならない。
本規則に従いエントリー申請が行われなかった場合、宿泊費用を受け取る権利はない。

3 スタート順

3.1 第1グループ（1～15）（*NAC）
競技者のカップポイントをもとに第1グループ（1～15）を決定する。7位（スラローム/ジャイアントスラローム）又は、15位（全種目）に同ポイントの競技者がいる場合、第1グループの枠を適宜拡張する。
カップポイントを持つ競技者が15名未満の場合、第1グループは、各カップポイントを持つ競技者のみとする。

3.1.1 スタート番号の選択/ドローの選択
ジャイアントスラローム/スラローム第1グループ（1～15）
第1グループは（1～7）と（8～15）に分ける。スタート番号は各グループ内で、ダブルドロー方式でドローを行う。
ダウンヒル/スーパーG/アルペンコンバインド第1グループ（1～15）
第1グループの競技者およびスペシャルグループ（3.2.13 照）の競技者が1～30のうち各自のスタート番号を選択する。残った番号を上位30位以内の競技者でドローする。

3.1.2 公開ドローの手順および、ソーシャルプログラム

ダウンヒル/スーパーGにおいて、公開ドローに欠席した競技者がいる場合、その競技者は残った番号でドローを行う。ドローをしなかった競技者が1名のみならば、その競技者は残り1つの番号を受け取る。

スラローム/ジャイアントスラロームにおいては、大きい番号順(例えば15, 14, ...といった具合)にドローを行う。ドローをしなかった競技者が1名のみならば、その競技者は残り1つの番号を受け取る。

非公開ドローの場合、チームキャプテンは競技者の代わりにスタート番号を選択することができる。(ダウンヒル/スーパーG)

3.1.3 カップポイントの有効性(*EC/NAC)

各カップの最終種目別ランキングは、3.1.3に基づき、翌シーズンにレース結果として使用する。ランク1位は100ポイント、30位は1ポイントを獲得する。このランキングはシーズン最初のレースの最初の30名を決定する。最初のレースに関して、ベーシックリストが30名に満たない場合、前シーズンの最終種目別順位に基づいて穴を埋める。最初のレース以降獲得した各種目のカップポイントはベーシックリストに加えられ、新しい順位を決定するために使用する。

3.1.4 有効なベーシックリスト

FEC、SAC、ANCの第2戦以降、NACのジャイアントスラロームおよびスラロームの第3戦以降は当該種目のそのシーズンのベーシックリストは消去される。NACのダウンヒル、スーパーG、アルペンコンバインドではベーシックリストが消去される前の2戦を使用する。当該シーズンのカップポイントのみが対象となる。ECはEC3.1.3およびEC3.1.4を参照のこと。

3.2 第1グループ以降のスタート順(*EC/NAC)

第1グループの後、参加しているWCSLの上位30位の競技者に続いて、3.2.1(450/200カップポイント)に従いスタートする。続く15名の競技者は、上記2つのグループのいずれにも入っていない場合、当該カップ種目の順位どおりにスタートする。最終的に450ポイントを有する競技者を含めた種目別順位の競技者30名が対象となる。

アルペンコンバインドにおいて、最初の30名の競技者が、アルペンコンバインドのカップポイントあるいは、FISポイントを保持していない場合は、競技者は、アルペンコンバインドで開催される種目によって、スーパーGとダウンヒルのいずれかのFISポイントが対象となる。30名以降の競技者で、アルペンコンバインドのFISポイントをもっていない競技者にも、同様の措置が取られる。

- ### 3.2.1 スペシャルグループ：450 (EC、NAC)、400 (FEC)、200 (SAC、ANC) カップポイント
- コンチネンタルカップの過去のシーズン又は、現シーズンの総合順位で450点 (EC、NAC)、400点 (FEC)、200点 (ANC、SAC) 以上のカップポイントを持つ選手は、そのカップに限り、

15 番以内にスタートする権利を持たない場合、全ての種目で 16 番目にスタートすることができる。

カップポイントが 450 点 (EC、NAC)、400 点 (FEC)、200 点 (ANC、SAC) に達した選手が複数いる場合、該当種目のカップポイント順に、或いは、カップポイントを持たない場合は、FIS ポイントの順でスタートする。負傷によりこの権利を利用できない場合、選手は翌シーズン最初の 3 レースに使用することができる。これは種目に関係なく 3 回までのスタートに有効である。

3.2.2 各コンチネンタルカップの優勝者および権利獲得者の 31 番スタート

前シーズンでのコンチネンタルカップ種目別優勝者（南半球は同シーズン）又は、各コンチネンタルカップの最上位競技者（優勝者または各コンチネンタルカップ最上位競技者と同ポイントを含む）は、FIS ウェブサイトの別リストに名前を記載される。

該当選手は、30 位以内に入っていない場合、他の全てのコンチネンタルカップで 31 番目にスタートする権利がある。この基準に当てはまる選手が複数いる場合、当該種目でのカップポイント順にスタートし、選手がカップポイントを持たない場合は FIS ポイントの順にスタートする。この権利は当該種目でのみ有効となる。

(2020 年 NAC 優勝者の 1 年権利の延長)

3.3 スラローム、ジャイアントスラローム、およびアルペンコンバインドにおける 2 本目

3.3.1 スラローム、ジャイアントスラロームにおける 2 本目の制限

1 本目を完走した選手のうち、上位 60 名のみ 2 本目に出場することができる。

3.3.2 2 本目のスタート順

1 本目のスタートの 1 時間前までにジュリーは、1 本目の上位 15 名を逆順にするか、上位 30 名を逆順にするか決定する。

3.3.3 アルペンコンバインドの 2 本目のスタート順

1 本目を終えた選手はすべて 2 本目のランをスタートする権利をもつ。2 本目のスタートリストが出来上がった後（上位 30 名に変動がない場合）、1 本目の上位 30 名が逆順にスタートし、それに続く順位の選手は 1 本目のタイムにしたがって順番にスタートする。(31 位、32 位など)

3.4 リーダービブ

各コンチネンタルカップでの首位の競技者、又は各種目の最上位競技者及び、現在の総合首位競技者は、リーダービブを着用する。シーズン最初のレースでは、前シーズンの優勝競技者が、第 2 戦では第 1 レースの優勝者が、第 3 戦以降はシリーズ中のコンチネンタルカップランキングの首位の競技者が着用する。

4 ポイント

4.1 得点表

上位 30 位の競技者は以下の表に従いポイント（順位得点）を与えられる。

1 位	100 点	16 位	15 点
2 位	80 点	17 位	14 点
3 位	60 点	18 位	13 点
4 位	50 点	19 位	12 点
5 位	45 点	20 位	11 点
6 位	40 点	21 位	10 点
7 位	36 点	22 位	9 点
8 位	32 点	23 位	8 点
9 位	29 点	24 位	7 点
10 位	26 点	25 位	6 点
11 位	24 点	26 位	5 点
13 位	20 点	28 位	3 点
14 位	18 点	29 位	2 点
15 位	16 点	30 位	1 点

4.2 複数の競技者が同順位になった場合

複数の競技者が得点圏で同順位になった場合、前項第 4.1 に明記されているように、各同順位競技者は、その順位相応のポイントを獲得する。後に続く競技者は、レースの公式順位に該当するポイントを与えられる。

4.3 優勝者タイムとのタイム差

もし競技者の総合タイムが、優勝者より 8%以上遅い場合、順位に関係なくポイントは与えられない。

4.4 コンチネンタルカップファイナル (*EC)

5 順位およびコンチネンタルカップ優勝者

5.1 順位決定方式

個人の総合順位および種目別順位の決定方式（計算式）は、各シーズン前に決定される。いかなる場合でも、シーズン中に方式を修正しない。

5.1.1 リザルト数

順位計算式は、シーズン全体又は特定期間中の順位決定に使用されたりザルト数で構成する。

5.1.2 種目別順位

種目別の順位（男子および女子）については、各 6 種目で競技者が獲得した全リザルト（カップポイント）をカウントする。

5.1.3 総合順位

総合順位は、競技者が獲得した全リザルト（ダウンヒル、スラローム、ジャイアントスラローム、スーパーG、およびアルペンコンバインド、パラレル）をカウントする。

5.1.4 同順位の競技者

全大会終了後、総合順位の上位 6 位以内で複数の競技者が同位となった場合、または、もし、種目別順位で複数の競技者が同ポイントを獲得した場合、1 位をとった数、次に 2 位をとった数、3 位をとった数等々に従い順位を決定する。

この方法で順位決定できない場合、競技者は順位相応のメダルを授与される。

5.2 男女共通

得点システムは男女共通とする。

5.2.1 各コンチネンタルカップでの優勝者

総合優勝競技者は、「(各) コンチネンタルカップの優勝者」の称号が与えられる。

5.2.2 種目別優勝者

種目別優勝競技者は「各コンチネンタルカップでのダウンヒル、スラローム、ジャイアントスラローム、スーパーG、アルペンコンバインド、パラレルの優勝者」の称号が与えられる。

5.2.3 トロフィー

総合順位及び種目別順位の優勝者は各コンチネンタルカップが授与される。

5.2.4 メダル

総合順位および各種目別順位の上位 3 競技者はメダルが授与される。

5.3 国別対抗戦

もし、国別対抗戦を表彰する場合、シーズン中の男女およびチーム競技を含む 6 種目の合計ポイントが最も高い国に授与される。

5.4 ワールドカップの個人出場権

各コンチネンタルカップの総合優勝者および、各コンチネンタルカップの当該シーズンの各種目最高順位競技者は、勝利後のシーズンに開催されるワールドカップの該当種目に出場する権利がある。ただし、ワールドカップファイナルは例外とする。もし、当該コンチネンタルカップの総合優勝者が各種目において出走権を有している場合は、加盟国連盟は、追加又は、代理出走権の申請することはできない。

当該コンチネンタルカップでスピード系種目が開催された場合のみ、総合優勝者はこの個人出場資格を有する。南半球の場合、上記は同一シーズンとする。有効な表は FIS ウェブサイトに掲載される。

5.4.1 各コンチネンタルカップの種目別順位からの出場資格獲得競技者数

EC : 3名
NAC : 2名
FEC : 1名
SAC : 1名
ANC : 1名

5.4.2 地理的必要条件 (*FEC)

競技者が所属する連盟が加盟している地理学上の地域でのコンチネンタルカップを通じてのみ、競技者はワールドカップへの出場資格を認められる。優勝者またはワールドカップ出場資格を獲得できる順位にいる競技者が他の地域出身の競技者である場合、該当コンチネンタルカップの競技者のうち、最上位の競技者に個人出場枠が与えられる。

(FEC*) ロシアの競技者は、ワールドカップの資格取得順位を得ても FEC のメンバーの対象外とする。

5.4.3 ワールドカップスタートリスト (WCSL) の上位 20 位

すでに来シーズン WCSL の上位 20 位にランクしている選手は考慮に入れない。

5.4.4 3名とも同国の場合 (EC*)

COC の総合優勝者を除く、同一国から最大 3 名の競技者がいた場合、そのうち 1 名のみがワールドカップに出場できる。これは、同じ国の 2 人以上の競技者が 3 位で並んだ場合にも適用される。

5.4.4.1 2名または3名とも同国の場合 (NAC*)

COC の総合優勝者を除く、同一国から最大 2 名の競技者がいた場合、そのうち 1 名のみがワールドカップに出場できる。これは、同じ国の 2 人以上の競技者が 2 位で並んだ場合にも適用される。

5.4.4.2 2名とも同国の場合 (FEC/SAC/ANC*)

もし同一国出身の2名以上の競技者が優勝した場合、COC総合優勝者を除く1名のみがワールドカップに出場できる。

5.4.5 出場資格

ワールドカップに出場するためには、5.4.1により選ばれた競技者は、該当種目の有効FISポイントリストの上位350位にランクしていなければならない。(パラレルはPWSL500位以内)

5.4.6 FECおよびANCにおけるダウンヒル

ANCおよびFECのコンチネンタルカップのダウンヒルシリーズは、他のコンチネンタルカップシリーズの順位の中から実施することができる。どのCOCシリーズで資格を得るかは、それぞれの競技シーズンの開始前に決定しなければならない。

5.4.7 レース数

5.4のワールドカップへの個人参加資格を得るためのコンチネンタルカップシリーズは、各競技で最低2つの有効な成績を収めなければならない。アルペンコンバインドとパラレルでは、1つの成績と最低2つのスタートが必要である。

6 コース公認

全ての競技は公認コースで実施しなければならない。主催者は、アルペンFISコンチネンタルカップに選んだコースが公認されていることを早急に確認する。

コースおよびフィニッシュエリアは、FISコンチネンタルカップに定められる基準を満たしていなければならない。また、コンチネンタルカップのコースの基本的な準備のため、十分な数の人工降雪機を保証しなければならない。

6.1 コンチネンタルカップでのトレーニング (*EC/NAC)

コンチネンタルカップレースで使用するコースでのトレーニングが可能な場合、エントリーした全ての競技者が利用できるようにし、限定しない。

6.2 レースヒルでのフリースキー

スーパーG、ジャイアントスラローム及びスラロームレースの前日にレースヒルでのフリースキーが計画された場合、各コンチネンタルカップカレンダーは全選手の参加を許可しなければならない。

7 経費の支払い (*NAC/SAC/ANC)

有資格選手のいるチームは下記の通り主催者から食費及び宿泊費を支払われる。

7.1 選手及び有資格選手の役員(*SAC/ANC)

7.1.1 に準ずる役員及びレースを実際にスタートし、FIS ポイントリストで該当種目の上位 75 位 (有効な PWSL 上位 200 位) に入った選手には 100%支払われる。

7.1.1 役員(サービスマンは除く)

1-2 名の有資格*選手のいるチーム 1 名

3-5 名の有資格*選手のいるチーム 2 名

6-10 名の有資格*選手のいるチーム 3 名

*「有資格」：費用の払い戻しを受ける資格のある選手

7.1.2 コンチネンタルカップ優勝者

経費が支給される種目では、コンチネンタルカップの優勝者または有資格者は有効な FIS ポイントリスト (附属書 3.2.2) で上位 75 位以内にランクされていなくても、食費および宿泊費は、7.4 に従って支払われる。オフィシャルは含まれない。

7.2 追加の競技者および役員 (*NAC)

上記の資格を持たない追加の競技者、および前述の出場枠に従い費用支払いを受けられない追加のチーム役員、および公式参加のチームサービスマンに対して、宿泊および食事に対する請求の最高金額は 1 日 90CHF (スイスフラン) または大会期間に見合った額とする。これは技術系種目第 1 レース前のトレーニング 1 日分を含む。これは最高金額であり、ホテルの通常料金がこれより低い場合、通常料金のみを請求することができる。

7.3 ダウンヒルおよびスーパー-G (*SAC/ANC)

ダウンヒルおよびスーパー-G のレースについていかなる食費、宿泊費も、競技者および役員に対し組織委員会は支払わない。

7.2 の適用：競技者や役員および公式参加のチームサービスマンの食事、宿泊に対する最高請求金額は 1 日 90CHF (スイスフラン) か、相当額とする。

7.4 費用支払い期間 (*EC)

宿泊および食事に対する費用は競技初日前日の夕食から最終競技日の昼食まで支払わなければならない。

主催者またはホテルは、大会当日、チームがレース終了後 2 時間よりも早く部屋を空けることを要求してはならないし、少なくともレース終了後に更衣室とシャワーを利用できるようにしなければならない。

7.4.1 詳細

技術系 1 種目 = 1 日、1 泊

技術系 2 種目=2 日、2 泊

技術系 3 種目=3 日、3 泊

技術系 4 種目=4 日、4 泊

7.4.2 個人的費用

各チームは（飲物代、電話代など）個人的な費用については、出発前直接ホテルに支払わなければならない。

チェックインの際要請があれば、ホテルおよび宿泊施設にクレジットカード又は手付金などより、事前のクレジットが必要である。

7.4.3 発着

早く着いた場合（前日）又は出発が遅れた場合（翌日）、部屋及び食事に対する最高請求金額は 1 日 90CHF もしくはそれ相応とする。

7.5 宿泊の権利 (*EC)

各 NSA は、競技会の 5 週間前に、チームメンバー（競技者、コーチ、同伴者、サービスマン）の総数を主催者に通知しなければならない。さらに、最初の公式トレーニングまたは競技会の 7 日前までに、チームメンバーの名前、到着日の変更、当初登録したチームサイズの変更、および最終的な競技会からの離脱について、組織委員会に通知しなければならない。これが行われなかった場合、組織委員会はキャンセルされた宿泊施設に発生した費用を関係する NSA に請求する。

宿泊施設の予約は、組織委員会を通じてのみ行うものとし、他の予約は組織委員会との合意があって初めて可能となる。

8 カレンダーおよび計画

各コンチネンタルカップシリーズは、FIS ポイントルールに定められた評価期間に従い毎年計画される。

南半球：7 月 1 日－9 月 30 日、北半球：11 月 15 日－4 月 15 日。中止したコンチネンタルカップレースを各コンチネンタルカップファイナル以降に予定することはできない。

カレンダーの企画

各大会シーズンのカレンダーのデザインは、各コンチネンタルカップ委員会が、コンチネンタルカップのカレンダー作成の一般原則に従って、可能な限り 1 シーズン以上前に決定するものとする。関係国は具体的な開催地を提案するものとし、各コンチネンタルカップ委員会の承認を得るものとする。

8.1 休息の期間

各コンチネンタルカップの小委員会は、少なくとも 15 日間の休息期間を含むカレンダーを作成する。

8.2 他レースの追加

コンチネンタルカップ大会の主催者は、国際スキーカレンダーに記載の無い FIS レースをプログラムに追加してはいけない。いかなる事情があれ、このような追加レースがコンチネンタルカッププログラムを混乱させるようなことがあってはならない。

8.3 代替競技

8.3.1 不可抗力による中止

「不可抗力」によりレースを中止しなければならない場合、同一種目の代替レースを別地で開催してもよい。当該レースを主催する加盟国連盟は中止を決定する日から 10 日以内に代替レースの日程、開催地を確認しなければならない。他国での開催もできる。変更には、各コンチネンタルカップ小委員長又はその指名人による承認を得なければならない。このような代替レースには、他の FIS レースに追加してはいけない。

8.3.2 費用の支払い

別の場所で代替する場合、主催者による食事付きの費用の支払いは以下の通りとする。

7.1.1.1 に基づく役員および、実際にレースを開始し、有効な FIS ポイントの上位 75 位に入っている競技者は 50%とする。

8.3.3 別のレースとの干渉

代替レースは、各コンチネンタルカップカレンダーに最初から組み込まれている別のレース日程に干渉をきたすことがあってはならない。

8.3.4 他国での開催

代替レースが、当初の予定とは異なる国で開催される場合、実際の開催国は、セクション B2.3 に準ずる開催国追加出場権を持つことができる。

8.4 各コンチネンタルカップファイナルの開催地

各コンチネンタルカップファイナルの最終戦は、提出された提案に基づき雪の状態を考慮に入れて交代制を基準として該当小委員会が決定する。

9 アルペンコンバインド

アルペンコンバインドでは、ダウンヒルまたはスーパーG と、スラロームを 1 本行う。

9.1 出場枠

各国はアルペンコンバインドの出場枠をもつ。開催国には追加出場枠が認められる。アルペンコンバインドの出場枠をもたない場合、ダウンヒルまたはスーパーGの出場枠が適用される。適用される出場枠は、開催される組み合わせによる（ダウンヒルとスラロームか、スーパーGとスラローム）。

9.2 FIS ポイント

NAC と EC においては、スラロームと高速系の両方をゴールすることで、スピード系種目（ダウンヒル/スーパーG）の FIS ポイントが付与される。

9.3 カップポイント

アルペンコンバインド（ダウンヒルとスラローム、またはスーパーGとスラローム）の結果は、アルペンコンバインドとカップ総合順位に反映される（4.1 のポイントに準ずる）。

9.4 スタート順

9.4.1 シーズン最初のコンバインドでは、ダウンヒルまたはスーパーG とスラロームのスタート順はそれぞれ 3.1.1 に従って決定する。

9.4.2 1 本目を完走した競技者全員が 2 本目をスタートする権利をもつ。

10 パラレル

10.1 レースは、予選を含むパラレルレースとして開催される。

10.2 出場枠

2.1 および 2.2 を参照。

10.3 パラレル形式における予選滑走

- パラレル競技コースで行われる。
- 登録：出席しているすべての競技者は、実際のパラレル・ワールド・シーディング・リスト（PWSL）に従って登録される。
- スタート順。1 本目：奇数ゼッケンが赤コース、偶数ゼッケンが青コース
2 本目：奇数ゼッケンが青コース、偶数ゼッケンが赤コース
- 1 本目で DNF、DNS、DSQ となった選手は 2 本目には出られない。
- 両方のランでタイムを出した選手のみが予選通過とする。

- 予選の抗議時間終了後、各チームキャプテンの確認を経て、1本目と2本目のタイムを合計したベスト 32 がラウンドオブ 32 への出場権を獲得する。両方のタイムを持つ選手がいない場合は、シングルタイムのベスト 32 が次の予選通過者となる。
- 同点の場合は、シングルタイムが最も良い選手が上位となる。それでも同タイムの場合は、ビブの大きい方が上位となる。
- 1本しか滑走できなかった場合は、各コースの上位 16 名がラウンドオブ 32 への出場権を得る。同タイムの場合は、ビブの大きい方が上位となる。ベストタイムを出したコースの競技者は、順位に応じて奇数番号で登録される (1、3、5 など)。もう一方のコースの競技者は、順位に応じて偶数番号で登録される (2、4、6 など)。

10.4 予選滑走

- 別のコースで行われる (パラレルコンペティションのコースではない)。
- 参加資格：パラレルコースの予選と同じ。
- スタート順は、コンチネンタルカップ規則 3.1 条による。
- 予選ランは従来のジャイアントスラロームランよりも短い。
- 予選ランはシングルジャイアントスラロームゲートで設定される。
- 予選のプロテスト時間終了後、各チームキャプテンの確認を経て、予選ランのベスト 32 の選手が予選通過者となる。32 位で同点の場合は、ビブの大きい方が予選通過者となる。

10.5 パラレル競技

- 登録：予選を通過した 32 名の競技者が登録されます。
- 予選ランでの順位に応じて登録されます。
- パラレルのブラケット (スタートリスト) は ICR による。(art. 1230.2.1)
- 競技者間の各ヒートは 2 本のランで構成される。2 人の競技者は 2 本目でコースを変える。
- 各ペアから、ペアの先頭に記載されている競技者、またはそれぞれ上位に記載されている競技者が、そのラウンドの 1 本目に赤コースからスタートする。(ICR art.1230.2.3)
- 第 1 ヒート後の最大ペナルティタイムは 0.5 秒とする。
- ラウンドオブ・32 (第 1 ラウンド) で敗退した競技者は、総タイム (ランとリラン) に応じて 17~32 位にランクされる。トータルタイムのない競技者は、予選でのタイムに基づいて順位を決定する。
- ラウンドオブ 16 (2 次ラウンド) で敗退した競技者は、ランとリランの合計タイムにより、9~16 位にランキングされる。トータルタイムのない競技者は、予選でのタイムに基づいてランキングされる。
- 準々決勝で敗れた競技者は、その合計時間 (ランとリラン) に応じて、5~8 位にランクされる。トータルタイムのない競技者は、予選でのタイムに基づいて順位付けされる。

- 決勝戦および/または3位決定戦で同タイムの場合、競技者は同順位にランク付けされる。
- ICR Art. 1220-1234, パラレル・イベントは有効である

10.6 精密な規定

- パラレル競技では、ターニングポールからターニングポールまでの距離は 16m 以上 20m 以下でなければならない。
- ジャイアントスラロームのアルペン競技用品ルールを適用する。(レーシングスーツは例外)。
- 予選ランおよびパラレルレースのコース設定者は、それぞれの COC 小委員会によって任命される (ヨーロピアンカップ大会では、それぞれの FIS EC コーディネーターが任命する)。
- パラレル COC ポイントによるスタート順は、2021/2022 シーズン (北半球) から導入される。
- 不可抗力の場合、審査員は任意の予選方法を使用することを決定できる。(art. 4.1 or 4.2)

10.7 得点

予選およびパラレルレースでは、FIS ポイントは付与されない。

当該種目のコンチネンタルカップポイントと、予選を通過した 32 名の競技者の総合ポイント (ネーションズカップポイントも含む) は、以下のように付与される。

1 位	100 点	17 位	14 点
2 位	80 点	18 位	13 点
3 位	60 点	19 位	12 点
4 位	50 点	20 位	11 点
5 位	45 点	21 位	10 点
6 位	40 点	22 位	9 点
7 位	36 点	23 位	8 点
8 位	32 点	24 位	7 点
9 位	29 点	25 位	6 点
10 位	26 点	26 位	5 点
11 位	24 点	27 位	4 点
12 位	22 点	28 位	3 点
13 位	20 点	29 位	2 点
14 位	18 点	30 位	1 点
15 位	16 点	31 位	1 点
16 位	15 点	32 位	1 点

11 物議を醸す事柄

現行の規則では解決できない競技中のすべての問題については、その競技の技術代表が、出席しているそれぞれのコンチネンタルカップ委員を招集する。その中での採決は多数決によって決定を下し、その決定は次の各コンチネンタルカップ会議で合意を得るために提出されなければならない。出席者がいない場合は、それぞれの委員長、副委員長、およびコンチネンタルカップコーディネーターに相談するものとする。

各コンチネンタルカップに置ける特別ルール

Section B: EC - European Cup

EC.2.3 Higher Quotas

EC.2.3.1 Organising Nation

The organising National Association has the possibility to increase its normal quota as follows. The organising association has in any case a minimum quota of 10 competitors.

	Women	Men
Downhill / Alpine Combined	multiply by four	multiply by three
Super-G / Alpine Combined	multiply by three	multiply by three
Slalom / Giant Slalom / Parallel	double	double

Slalom, Giant Slalom and Parallel:

The additional competitors must be ranked in the top 500 of the FIS points list in at least one of the five events.

Downhill, Super-G and Alpine Combined:

The organising nation may enter up to a total of 6 competitors qualified according to the basic quota (art 2.1). The additional competitors must be ranked in the top 500 of the FIS points list in Downhill, Super-G or Giant Slalom.

EC.2.3.2 Quotas for Downhill for Nations within European Cup geographical region

Nations within the European Cup geographical region are entitled to higher quotas (according to the following key). These are stated on the published Continental Cup quota lists. The additional competitors must be ranked in the top 500 of the FIS points list in Downhill or Super-G.

Women	up to 16 start places
Men	up to 13 start places

EC.2.3.2.1 Quotas for Super-G for Nations within European Cup geographical region

Nations within the European Cup geographical region are entitled to higher quotas (according to the following key). These are stated on the published Continental Cup quota lists. The additional competitors must be ranked in the top 500 of the FIS points list in Downhill, Super-G or Giant Slalom.

Women	up to 15 start places
Men	up to 12 start places

- EC.3.1.3 Validity of Cup points
- The final ECSL (European Cup Starting List) is used with a validity defined in art. 3.1.4. in the next season. This will be the ranking valid for the first race. The Cup points achieved from the first race onwards in each event will be added to remaining ECSL points from the past season.
- If a competitor has not started in any race during the period from October 15th to April 15th due to injury, the National Ski Association may apply for the approval of a status as injured in the ECSL for the upcoming season; the application to be submitted by 30th April latest. If the status as injured is approved, the competitor will be added in the ECSL of the respective event(s) for the coming season (in the final position achieved in the previous season).
- EC.3.1.4 Validity of the Basic List (ECSL)
- The sum of the ECSL points of the past season in the respective event will be divided by four in Technical events, three in Speed events and two in Alpine Combined. This will establish the points that will be deleted after each race.
- At the EC Finals only EC points achieved in the current season are valid for the starting order.
- EC.3.2.3. Top 30 World Cup Starting List
- Competitors, who are ranked in the top 30 of the valid World Cup Starting List (WCSL) in the respective event, may start after the first group and the special group (art. 3.2.1). If there is more than one present, they will start in order of their Cup points in that event, or FIS points if they have no Cup points.
- EC.4.4 European Cup Finals
- EC.4.4.1 Quotas
- Each nation is entitled to participate with their valid quotas. In the case of Downhill, Super-G and Alpine Combined (or Giant Slalom and Slalom) taking place at one event, the nation's higher quota in Downhill, Super-G or Alpine Combined, is valid in all of the three (or two in case of Giant Slalom and Slalom) events.
- EC.4.4.2 Qualification
- The conditions for the basic quota according to art. 2.1 remain valid. The additional competitors in the national quota must be ranked within the top 45 (top 30 in Alpine

Combined) in the European Cup overall standings in the respective events. There is no moving up or replacement. Furthermore all competitors from the Special Group (450 EC points competitors) in the current season have the right to start. All top 30 competitors from the actual WCSL before the first Team Captains´ Meeting also have the right to start in the event concerned. This last group of competitors is not counting to define the top 45 (top 30 in Alpine Combined) qualified for the finals.

EC 4.4.3 Starting Order for the EC Finals

GS/SL:

The first group (1 - 15) is sub-divided into two groups: (1 - 7) and (8 - 15). The start numbers are then drawn by double-draw from within these groups.

After the first group the competitors will start as follow:

- 450 EC points from the current season
- Top 30 competitors of the actual WCSL

All other competitors will start according to the EC event standing list, Competitors without EC points will start at the end in their FIS point order.

DH/SG/AC:

The first group and the special group (competitors with 450 EC points or more in the current season) may choose their start number from between 1 - 30. The present competitors ranked within the top 30 of the actual WCSL before the first Team Captains´ Meeting and the remaining start numbers from 1 - 30 will be drawn amongst the rest of the competitors within the top 30.

All other competitors will start according to the EC event standing list, Competitors without EC points will start at the end in their FIS point order. In case the first 30 competitors in Alpine Combined do not have EC points, the Super G (or Downhill) EC points (depending on which event will be held for the Alpine Combined) will be considered.

EC.4.4.4 Organising Nation

The organising National Association is entitled to a normal European Cup quota in SL/GS according to art. 2.2, whereby all competitors must fulfil 4.4.2, plus additional maximal 5 competitors who do not have to fulfil 4.4.2. Regarding DH/SG the same criteria as for the normal European Cup quota are valid (4.4.2 must be fulfilled), plus additional maximal its national quota (max. 10 competitors), which do not have to fulfil 4.4.2, whereby the higher quota from DH or SG is valid.

EC.6.1 Training on European Cup courses

No training is allowed on European Cup courses for two (2) days before the start of official training or the first competition - irrespective of the event or course. Failure to comply with this rule will lead to disqualification or refusal to allow the respective competitor to start.

EC.6.3 Non-essential changes

In cases of immediate - non-essential but necessary - changes on the course, such as small relocations of gates, an additional inspection or training run is not necessary.

Details must be communicated to all team-captains and competitors must be informed by the referee at the start.

EC.7.4 Duration for payment of expenses

Expenses for lodging and food must be paid from the dinner of the night before the first competition to the lunch after the last competition (in case of night or evening event from the lunch before the competition to breakfast the day after the competition).

The organiser or the hotel manager may not demand the vacation of rooms earlier than 2 hours after the race by the teams on the day of the competition, or after the race there must be at least an access to rooms and shower according to the following key:

team with up to 4 competitors = 1 room* and shower as from 5 competitors
= 2 rooms* and shower as from 8 competitors = 3 rooms* and shower

*The rooms must be part of those hotel rooms already used by the team.

EC.7.4.4 Single rooms

Allocation of single rooms per team must be made according to the following table:

1 to 4 competitors	= 1 single room
5 to 10 competitors	= 2 single rooms
More than 11 competitors	= 3 single rooms

Section B: NAC - Nor-Am Cup

NAC.2.3 Higher Quotas

Canada and USA may enter up to 60 competitors (60 men and 60 women) in each technical race organised in the other neighbouring nation. All competitors must have a valid FIS code.

NAC.2.3.1 Organising Nation

The organising nation may enter a basic quota of 60 competitors; in addition they are entitled to any of the 60 places the other nation (Canada in USA or USA in Canada) does not fill. On prior agreement between the nations, this option may be extended to allow the other nation to use some of the organising nation's 60 places. In any case the maximum quota of 120 for USA and Canada, plus 1 for the winning nation from the previous season (COC 2.2) if the winner is from CAN or USA, may not be exceeded. All competitors must appear on the valid FIS List.

NAC.2.3.1.1 NAC Final quota

Canada and USA may enter up to 60 competitors each for each race in the finals. Unused slots may be used by the other nation; the maximum will not exceed 120 + 1 North American racers.

NAC.2.3.3 Normal FIS quotas for visiting nations

The organising nation has the right to allow nations from other regions to enter up to their normal FIS quota on consideration of the number of entries and conditions. All competitors must be ranked within the top 1000 on the valid FIS points list, as follows:

- Slalom / Giant Slalom / Parallel: in any of the five events
- Downhill: in Downhill or Super-G
- Super-G: in Downhill, Super-G or Giant Slalom
- Alpine Combined (with DH): in Downhill or Super-G
- Alpine Combined (with SG): in Downhill, Super-G or Giant Slalom

National Federations applying for NAC.2.3.3 must apply in writing to the NAC Sub-Committee at least ten days prior to the competition or first official training. A decision will be made by the NAC Sub-Committee seven (7) days prior to the competition or first official training.

NAC.2.3.3.1 DH quotas for USA and CAN

USA or CAN is entitled to the normal NAC quota for either nation's National Championships event when it is contested in conjunction with the NAC speed series.

NAC.2.4.2 Complimentary entries and lift tickets

Complimentary entries and lift ticket fees shall be provided to competitors qualified in one of the events taking place at the venue, according to the criteria in the Continental Cup rules section A art. 2.1; a maximum of two competitors qualified according to the basic quota, and art. 2.2.2; the remainder of the nation's valid Continental Cup quota in the respective event, whereby the competitors are ranked in the top 350 in one of the events at the event.

Foreign athletes who are enrolled in North American Schools, Clubs or Universities will be entitled to complimentary lifts and entries if they are 100 World Rank in one of the events of the "event".

This is only valid for the respective Continental Cup quotas.

NAC.2.4.2.1 Continental Cup winners

Continental Cup event winners, named in annex 3.2.2. are entitled to complimentary entries and lift tickets.

NAC.2.4.3 Entry Fees and Lift Charges

For all competitors representing USA and Canada, as well as foreign students in North America or members of Canadian or American Ski Clubs or Programmes, entry fees and lift tickets may be charged, except for a group of up to 15 A, B, C and national development team athletes. The charges are payable before the first Team Captains' Meeting. It is recommended entry fees and lift tickets be waived for all A, B, C and national development team.

NAC.2.4.4 Refunds

Charges are refunded in the case of changes to the calendared events or injury/illness.

NAC.2.4.5 Coaches and Trainers Credentials

The Race Organising Committee is obliged to provide credentials (lift tickets) to officials and trainers of National Federation according to the following: teams with 1 - 3 competitors receive 3 credentials teams with 4 - 5 competitors receive 6 credentials teams with 6 - 10 competitors receive 10 credentials

NAC.3.1 First group (1 - 15)

In the case of a tie for NAC points in the first group, competitors are seeded in the order of their FIS points in that event. If a tie for FIS points also exists, competitors are ranked by draw.

NAC.3.1.3 Validity of Cup points

In the case of a tie in the 450 overall points group, competitors will be seeded in the order of their NAC points in that event. The final NASL (NorAm Starting List) is used with a validity defined in art. 3.1.4. in the next season. This will be the ranking valid for the first race. The Cup points achieved from the first race onwards in each event will be added to remaining NASL points from the past season.

If a competitor has not started in any race during the period from October 15th to April 15th due to injury, the National Ski Association may apply for the approval of a status as injured in the NASL for the upcoming season; the application to be submitted by 30th April latest. If the status as injured is approved, the competitor will be added in the NASL of the respective event(s) for the coming season (in the final position achieved in the previous season).

NAC.3.1.4 Validity of the Basic List (NASL)

The sum of the NA Standing points of the past season in the respective event will be divided by four in Technical events, three in Speed events and two in Alpine Combined. This will establish the points that will be deleted after each race. At the NA Finals only NA points achieved in the current season are valid for the starting order.

NAC.3.3.3 Starting order for the 2nd run Alpine Combined

All competitors who complete the 1st run correctly have the right to start in the 2nd run.

NAC.6.1 Training on North American courses

No training is allowed on North American courses for two (2) days before the official training or the first competition - irrespective of the event or course. Failure to comply with this rule will lead to disqualification or refusal of the respective competitor to start. Fore-running World Cups prior to NorAm races is allowable and not considered training.

NAC.7 Payment of Expenses

NAC.7.1 NAC Competitors

For all competitors from Canada, USA as well as full-time students from other nations in North American education, and members of US or Canadian ski programmes, rules 7.1 and 7.1.1 do not apply.

NAC.7.2

Competitors and Officials; CAN and USA

For North American competitors and officials and full-time students from other nations in North American education as well as for officially entered team service personnel (on the official entry forms), the Organisers are required to arrange or provide full board and lodging at a maximum of US \$ 75 per day, if requested by the respective teams.

Section B: FEC - Far East Cup

FEC.2.3 参加資格数

日本、韓国、ロシア、中国は、自国のグループ内で開催される競技会に最大 30 名（男子 30 名、女子 30 名）の選手を出場させることができる。アジア・スキー連盟に加盟しているその他の国は、最大 10 名の競技者をエントリーすることができます。すべての競技者は、有効な FIS コードを持っていないなければならない。

FEC.2.3.1 主催国

主催国は、基本的に 50 名の競技者をエントリーさせることができます。さらに、他の主催国（日本、ロシア、中国は韓国、韓国、ロシア、中国は日本、韓国、日本、中国は韓国、ロシア、日本）が埋まらなかった 90 名の枠を獲得する権利があります。主催国の枠が埋まらない場合は、大会を開催する他の国が空席の補充を要請することができます。この場合、最初のチームキャプテンズミーティングの 10 日前までに、主催国は空席を埋めるための申請書を提出して受理しなければならず、決定は最初のチームキャプテンズミーティングの 5 日前に行われて通知される。エントリーの申請は、各 NSA が責任を持って行う。

すべての競技者は FIS コードを持っていないとならず、FIS ポイントを持っているかどうかに関わらず参加できる。

FEC.2.3.3 訪問国の通常の FIS 割当数

主催国は、他の地域の国が通常の FIS 枠を超えてエントリーすることを認める権利を有する。すべての競技者は、以下のように、有効な FIS ポイントリストの上位 1000 位以内に入っていないとなければならない。 - スラローム／ジャイアントスラローム／パラレル：5 つの競技のいずれかにおいて

- ダウンヒル：ダウンヒルまたはスーパーG で
- スーパーG：ダウンヒル、スーパーG、ジャイアントスラロームのいずれかに出場
- アルペン複合（ダウンヒル付）：ダウンヒルまたはスーパーG に出場
- アルペン複合（スーパーG 付き）：ダウンヒル、スーパーG、ジャイアントスラロームのいずれか

FEC.2.3.3 を申請する国内競技連盟は、競技会または最初の公式トレーニングの 10 日前までに FEC 小委員会に書面で申請しなければならない。決定は、競技会または最初の公式トレーニングの 7 日前に FEC 小委員会によってなされる。

FEC.2.3.5

エントリーフィーとリフト料金

当該競技会の有効な FIS ポイントリストで上位 75 位以内にランクされている者を除くすべての競技者およびチームオフィシャルに対して、それぞれのコンチネンタルカップのノルマに応じて、エントリーフィーおよびリフト券が請求される場合がある。

Section B: SAC - South American Cup

SAC.2.3 Higher quotas

Each nation ARG-BOL-BRA-CHI may enter up to 30 competitors (30 men and 30 women) in events organised in any one of the other nations. All competitors must have a valid FIS code and have no more than 160 FIS Points in SL and GS, 180 FIS Points in SG and DH as follows:

- SL and GS: qualifying through any of the five events
- DH: qualifying through DH or SG
- SG: qualifying through DH, SG or GS
- Alpine Combined (with DH): qualifying through DH or SG
- Alpine Combined (with SG): qualifying through DH, SG or GS

In any case each nation from the SAC country group has a basic quota of 6 competitors (6 women and 6 men), the only requirement being that the competitors have a valid FIS Code irrespective whether they have FIS points or not. The organising nation may double the basic quota to 12 competitors (12 women and 12 men).

Competitors from the SAC country group without FIS Points but with SAC points can start according their SAC points, and they are not included in the basic quota. This special quota is valid only before the publication of the 2nd FIS Points List of the current season.

SAC.2.3.1 Organising Nation

The organising nation may enter a quota of 50 competitors; in addition they are entitled to any of the 30 places the other nation (Chile in Argentina, Argentina in Chile) does not fill. All competitors must have a FIS code and fulfil the SAC.2.3 regulations.

SAC.2.3.3 Normal FIS quotas for visiting nations

The organising nation has the right to allow a nation from other regions to enter to enter up to double their normal FIS quota. All competitors must appear on the valid FIS points list and have no more than 160 FIS points in SL and GS, 180 FIS points in SG and DH as follows:

SL, GS and Parallel:	qualifying through any of the five events
DH:	qualifying through DH or SG
SG:	qualifying through DH, SG or GS
Alpine Combined (with DH):	qualifying through DH or SG
Alpine Combined (with SG):	qualifying through DH, SG or GS

National Federations applying for SAC.2.3.3 must apply in writing to the SAC Sub-Committee at least ten days prior to the competition or first official training. A decision will be made by the SAC Sub-Committee seven (7) days prior to the competition or first official training.

- SAC.2.3.4 Athletes from the African Continent
Athletes from the African Continent may start in the South American Cup (SAC) races with the same qualification status as the South American racers (i.e. must have a FIS code and fulfil the SAC.2.3 regulations).
- SAC 2.3.5 Entry Fees and Lift charges
For all competitors and team officials, except for those who are ranked in the top 75 on the valid FIS Points List in the event concerned and according to the respective Continental Cup quotas, entry fees and lift tickets might be charged.
- SAC 7 Support for Teams
For each SAC race, teams with qualified competitors are entitled to receive one free lift pass per qualified competitor and per official according to 7.1.1 for use during the training camp.
- SAC.7.1 Competitors and officials of qualified competitors
Qualified are competitors wearing start numbers from 1-30 who actually started the race and are ranked in the top 75 of the valid FIS points list in the event concerned and officials according to art. SAC.7.1.1.
- SAC.7.1.1 Officials (Service personal excluded)
for a team of 1 - 2 qualified* competitors: = 1 lift pass
for a team of 3 - 5 qualified* competitors: = 2 lift passes
for a team of 6 - 10 qualified* competitors: = 3 lift passes
* 'qualified': competitors qualified for reimbursement of expenses
- SAC.7.2.1 Downhill, Super-G and Alpine Combined
For Downhill, Super-G and Alpine Combined competitions art. 7 does not apply.

Section B: ANC - Australia New Zealand Cup

- ANC.2.3 Higher quotas
Australia and New Zealand may enter up to 30 competitors (30 men and 30 women) in events organised in the other nation. All competitors must have a valid FIS code.
- ANC.2.3.1 Organising Nation
The organising nation may enter a quota of 50 competitors; in addition they are entitled to any of the 30 places not taken up by the other nation (Australia in New Zealand, New Zealand in Australia). All competitors must have a FIS code and can participate irrespective of whether they have FIS points or not.
- ANC.2.3.3 Normal FIS quotas for visiting nations
The organising nation has the right to allow a nation from other regions to enter up to double their normal FIS quota. All competitors must appear on the valid FIS points list and have maximum of 160 FIS points in SL and GS, 180 FIS points in SG and DH as follows:
- | | |
|----------------------------|---|
| SL/GS/Parallel: | qualifying through any of the five events |
| DH: | qualifying through DH or SG |
| SG: | qualifying through DH, SG or GS |
| Alpine Combined (with DH): | qualifying through DH or SG |
| Alpine Combined (with SG): | qualifying through DH, SG or GS |
- National Federations applying for ANC.2.3.3 must apply in writing to the ANC Sub-Committee, on the official entry form at least ten days prior to the competition or the first official training. A decision will be made by the ANC Sub-Committee seven (7) days prior to the competition or the first official training.
- ANC.2.3.4 Athletes from the African Continent
Athletes from the African Continent may start in the Australian New Zealand Cup (ANC) races with the same qualification status as the Australian / New Zealand racers. They must have a FIS code and can participate irrespective of whether they have FIS points or not.
- ANC.2.4.2.1 Continental Cup winners
Continental Cup event winners, named in annex 3.2.2. are entitled to complimentary entries and lift tickets.
- ANC 7 Support for Teams

For each ANC race, teams with qualified competitors are entitled to receive one free lift pass for each official training and race day per qualified competitor who actually starts, and for race officials according to ANC 7.1.1.

- ANC.7.1 Competitors and officials of qualified competitors
Qualified are competitors wearing start numbers from 1-30 who actually started the race and are ranked in the top 75 of the valid FIS points list in the event concerned and officials according to art. ANC.7.1.1.
- ANC.7.1.1 Officials (Service personal excluded)
for a team of 1 - 2 qualified* competitors: = 1 lift pass
for a team of 3 - 5 qualified* competitors: = 2 lift passes
for a team of 6 - 10 qualified* competitors: = 3 lift passes
* 'qualified': competitors qualified for reimbursement of expenses
- ANC.2.4.2.1 Continental Cup winners
Continental Cup event winners, named in annex 3.2.2. are entitled to complimentary entries and lift tickets.
- ANC.7.2.1 Downhill, Super-G and Alpine Combined
For Downhill, Super-G and Alpine Combined competitions art. 7 does not apply.

コンチネンタルカップ

主催者の義務

A 公示

A.1 大会名称

主催者は大会名称を決定する義務がある。

”FIS European / Nor-Am / Far East / South American / Australia New Zealand Cup”または”FIS European / Nor-Am / Far East / South American / Australia New Zealand Cup - Trophy (スポンサー名)”を全ポスター、通知、プレスレポート、非公式リザルトリストに加え、プログラムおよびスタートリスト上に記載する。

A.2 その他の宣伝

上記のテキスト、名前、大会場所以外の他の宣伝を FIS の認可なしにフィニッシュバナーに載せてはいけない。

B 情報

B.1 リザルト配布

各コンチネンタルカップの小委員会、又は指定プレス及びリザルトオフィスは全体の広告や、前レースの各種目の広告を定期的にそして大会後すぐ出版する。

B.2 電子メール／コンピュータ送信

TD の承認直後、主催者は公式リザルト及びペナルティ計算書を FIS データフォーマットの電子メールで送信しなければならない。alpineresults@fisski.com

C プレスサービス

プレスサービスは一般に、国際スキージャーナリスト連盟の提言に従うこと。コンチネンタルカップレースのプレスアクレディは該当連盟のガイドラインに沿って作らなければならない。コンチネンタルカップのような大会の主催者は、期限内に提出された要請に従い、出版物、ラジオ及びテレビを自由に使用できる宿泊施設を確保すること。また、アクレディ申請書の数に見合った作業部屋及び必要最低限の技術補助（電話、FAX、電子メール）も確保すること。各競技での暫定順位を作成し、必要ならば競技ジュリーの決定を口頭で伝える、経験のあるプレス担当者を任命すること。

C.1 公開ドロー

公開ドローのテレビ取材、又は十分な公的関心がある場合、上位グループのスタート番号決定のための公開ドローを一つの競技について行ってもよい。

D コンチネンタルカップ賞

D.1 受賞

最低でも上位 5 位までトロフィーと共に表彰を行う。最上位のジュニアにも賞を与えることを強く推奨する。

D.1.1 ヨーロッパカップでの賞金

EC 主催者は賞金として 1 レースにつき少なくとも CHF2,300 または同等の金額を準備しなければならない。この合計金額は上位 5 選手で分ける（パラレルの場合は上位 4 名）。（有効な FIS ポイントリストで上位 20 位の選手は除く）。代替レースの場合、最低金額の 50% を準備しなければならない。各国の税法を考慮の上、交換できる通貨で、授賞式の際に現金で渡すこと。組織委員会は競技の開催される国における賞金への課税に関して選手をサポートすること。

D.2 授与式

各種目の授与式は各種目の最終レース終了後に行ってもよい。例えば、ダウンヒル及びスーパー-G の受賞はシリーズの最終戦と共に行なわれ、スラローム及びジャイアントスラロームも同様である。総合順位に対する授与式はコンチネンタルカップシリーズ(及びネーションカップ)の最終レース後に行なわれる。

D.3 詳細

主催者は、温かく威厳のある簡素な表彰式を執り行わなければならない。野外での表彰式は最終レースをした場所、街やリゾートの広場で行う。場所、表彰台、場内放送システム、(マイク、アンプ、及び拡声器)、トロフィーやメダルを公に展示するに十分な机を準備しなければならない。

D.4 3 位までの選手

男女の各コンチネンタルカップ決勝戦が同時に行なわれた場合、女子の表彰を先に行う。各種目および総合順位の上位 3 名まず壇上へ上がり、続いて 2 位、そして 1 位とする。

D.5 優勝者

名前を呼ばれた勝者は台の両側に残る。女子が一方、男子がもう一方とし、何度も呼ばれる選手が行き来しなくてよいようにする。

D.6 総合順位

-3 位及び 2 位

-各コンチネンタルカップの勝者

D.7 賞の進呈

コンチネンタルカップ及びメダルは FIS 委員長、又はその代理により進呈される。

E 輸送手段

E.1 リフトなどの利用

NAC : NAC 2.4.3 参照

FEC: FEC 2.3.5 参照

ANC : ANC 7 参照

選手及び役員は、トレーニング及びレースコースへの輸送サービスを無料で使用するためのチケット又は ID カードを持つ資格がある。

F. 経費の支払い／チームサポート

コンチネンタルカップルール 7 参照(セクション A 及びセクション B).主催者が手配した宿泊施設を利用する権利を有するチームについて、下記の指針を適用することができる。事前にチームと合意に至った場合は、特別調整を行う。

F.1 コーディネーターの経費

指名された FIS コーディネーターの宿泊及び食事は任命期間中の開催者が負う。

G 宿泊施設

G.1 宿泊

選手及びコーチの宿泊には 2 台までのベッドと風呂又はシャワーのついた部屋を提供すること。例外として、風呂またはシャワーのついた部屋でベッドが 3 台あるものを提供してもよい。ただし、この場合は費用を減額する。

G.2 食事及び飲料

食事は健康を考え量も多く、選手の要望にかなったものでなければならない。食事は以下の指針にそっていなければならない。

朝食：パン、バター及びミルク付コーヒー又は紅茶。卵、チーズ、ソーセージ及びいろいろな種類のシリアルを選べること。

昼食：スープ又は前菜、チームごとに 200g の肉(ステーキなど、鶏肉又は魚の選択。野菜か他の付け合せ、チーズ、フルーツ、又はデザート、各自に 1/2 リットルのミネラルウォーター

夕食：昼食と同様

G.3 食事時間

ホテルはトレーニング及び大会プログラムのスケジュール要請に合わせなくてはならない。例えば、スラローム及びジャイアントスラロームでは、通常朝食をかなり早い時間にとる。ダウンヒルや毎日のトレーニングは午後 2 時半ごろ終わるため、ホテルは選手やコーチに温かい食事を出さなければならない。主催者は、ホテル経営者に宿泊、食事に関わる契約や、連日のプログラムについて変更も含み、知らせる責任がある。

H スキールーム

主催者はスキーの準備及び倉庫施設を全ての国が使用できるようにする責任がある。それらは暖房、換気、安全設備が整っていること。該当責任は国ごとの定款に従っていること；主催者は企業又は地域／国家チームにより設備提供の要請を受けない。(選手及びサービスマンの人数に従い推奨されるスキールームの大きさ)

I ウォームアップコース／前走者

I.1 ウォームアップコース

主催者はチームに、競技ゲレンデ同様ウォームアップ及びトレーニング用によく整備されたコースを提供しなければならない。：これらのコースはフェンスで隔離されていなければならない。可能であれば、そのうち 1 コースを 1 日中自由に使えることが望ましい。

I.2 前走者

主催者はダウンヒル及びスーパーG に対し、(6～10 名までの)十分な(FIS ポイントを有する)前走者を定めること。また、3～4 名をスラローム及びジャイアントスラロームに起用すること。

J 技術的詳細

J.1 レースコース上のスノーコンディションに関する大会前の処置

レースコースに十分な雪がない場合、組織委員会は大会をキャンセルしなければならない。FIS に任命されたエキスパート又はコンチネンタルカップ小委員会は組織委員会と合意の上決断を下す。

キャンセル締め切り：

ダウンヒル、及びスーパーG 及びアルペンコンバインド : レースの 10 日前

スラローム及びジャイアントスラローム	: レースの 6 日前
ANC	: レースの 15 日前

J.2 レスキューサービス

主催者はレースドクターを待機させる責任がある。主催者とともに、ドクターは適切な応急処置及びけが人の早急避難を行う。必要ならばヘリコプターを使用する。

J.3 中間タイム

ダウンヒルにおいて主催者は中間タイミングポイント 2 箇所に公表タイムを提供する必要がある。組織委員会が中間タイム 2 つを提供しない場合、開催国のチームは全チームに対し中間タイム 2 つを提供しなければならない。位置や必要となる保護具についての決定はジュリーが行う。

J.4 ビデオコントロール

すべてのヨーロッパカップのスラロームとパラレルでは、コース全体のビデオコントロールが義務付けられている。他のすべてのコンチネンタルカップのスラロームとパラレルの主催者は、この目標に向けて努力すべきである。

J.5 ウォーターインジェクションビーム

EC 及び NAC スラロームレースの主催者は少なくとも 1 つのウォーターインジェクションビームを使用できるようにする義務がある。

K アク্রেディテーション/アームバンド

ICR607、603.4.6.3 に従い、アクレディ及びアームバンドをチーム及び役員に配布しなければならない。FIS が発行する公式のアクレディは大会のアクレディとして使用できるが、必ずしもコースへの進入許可ではない。

L 総則

ICR、コンチネンタルカップルールセクション A・B 及び他の補足指示に厳密に従うこと。